

ZOOM松阪読書会

氷点



人間の罪と苦悩を鮮烈に描いたデビュー作

『氷点』は13年間の病から癒えた綾子が三浦光世と結婚し雑貨店を営みながら初めて書いた小説である。1964年7月「朝日新聞」1000万円懸賞小説に入選し同年12月から1年間「朝日新聞」朝刊に連載、65年に朝日新聞社より出版。その後大ベストセラーとなり繰り返しテレビドラマ化された。戦後の17年間にわたる愛憎劇を通し、人間の原罪の性質とそこから発する自己中心が生み出すさまざまな罪と苦悩、魂の淋しさの悲劇を描き救いの道への起点としての認罪の必要を説いている。

三浦綾子さんの『氷点（上）』をご一緒に楽しく読んでみませんか

Zoomによるオンライン読書会です

下記メールにお申込みいただければZOOMのご案内メールをいたします

ご興味があるお方は下記メールアドレスにメールください



shumaimai725@gmail.com 三浦綾子松阪読書会

参加費

無料

日時：2024年11月16日（土） 10時30分～11時30分
12月14日（土） 10時30分～11時30分
2025年 1月18日（土） 10時30分～11時30分

全国どこからでもご参加いただけます

ご療養中の方や入院されている方でも PC やタブレットあるいはスマホがあれば

ご参加いただけます 気楽に楽しくご参加いただければと思います お待ちしています